

# あい 愛の 実

《ヨハネ 15 章 1～11 節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① これらは何のことでしょう？ 線で結びましょう。

のう ふう △  
農 夫

▲ イエス様

ぶどうの木 △  
き

▲ わたしたち

ぶどうの枝 △  
えだ

▲ かみさま  
神様

② イエス様につながると、どんな実を結ぶことができますか？ ○をつけてね。

◆ ぶどうの実

◆ 愛の実

③ どうすれば豊かな実を結ぶことができるのでしょうか？  
きょうのみ言葉を、おぼえながら書いてみよう！

ヨハネ 15 章 9 節

2. かんがえてみよう！

① 「イエス様につながる」とは、どういうことでしょうか？

あいているところを□からえらび、番号を書いてね。

イエス様がわたしの【 】のために、

【 】で死んでくださり、今も

【 】してくださっていることを

【 】で生きることです。

1. 十字架

2. 罪

3. 愛

4. 信じ

② 今、あなたはイエス様につながっていますか？

【 はい / わかりません / いいえ 】

《 おいのりしよう！ 》

天のお父様、神様の愛、イエス様の愛をありがとうございます。イエス様につながって、愛の実をたくさん結ぶことができるように助けてください。イエス様のお名前によって、おいのりします。アーメン。

《エペソ 5<sup>しょう</sup>章 1～4<sup>せつ</sup>節》

① <sup>かみさま</sup>神様の愛は、どんなことから分かりますか？ <sup>した</sup>下の文字を<sup>も</sup>なぞり、<sup>じ</sup>読みましょう。

エペソ 5章1節<sup>しょう せつ</sup>

◆ かみさま よろこ あゆ  
神様に喜ばれる歩み

かみさま あい こ  
神様に愛されている子どもは、どんなことをしますか？ ○をつけね。

★ うそつき

てん　とうさま　かみさま　　さま　わたし　あい  
天のお父様、神様も、イエス様も、私を愛していただきありがとうございます。イエ  
　　さま　かみさま　あい　うち　あゆ　たす　　さま　なまえ  
ス様を信じ、神様の愛の内を歩むことができるように助けてください。イエス様のお名前によ  
って、おいのりします。アーメン。

# ひかり 光の子として 《エペソ 5章5～14節》

## 1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 神様が喜ばれる「光の生活」には○を、  
そうでない「やみの生活」には×をつけましょう。

★ まじめ

★ 悪口

★ いじめ

★ いやらしい

★ 偶像礼拝

★ 感謝

★ 助ける

★ 優しい

★ 人のものをほしがる

- ② きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

エペソ 5章8節



- ③ 光の子として歩むには、どうしたらよいのでしょうか？

あいているところを□からえらび、番号を書いてね。

光である【 】を信じて

【 】いっしょに歩むことです。

1. 太陽
2. イエス様
3. ときどき
4. いつも

## 2. かんがえよう！

- ① あなたはどちらの生活をしていますか？ 【 光の生活 / やみの生活 】
- ② イエス様は、あなたを光の子にすることができますか？  
【 はい / いいえ 】
- ③ 罪を告白して、イエス様を信じたあなたは、どちらの子ですか？  
【 光の子 / やみの子 】

《 おいのりしよう！ 》

天のお父様、わたしはやみの生活をしていました。ごめんなさい。世の光であるイエス様を信じます。光の子として輝けるように助けてください。イエス様のお名前によって、おいのりします。アーメン。

# <sup>み</sup>たま <sup>み</sup>御霊に満ちて 《エペソ 5章 15～21節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① きょうのみ<sup>ことば</sup>言葉をおぼえながら<sup>か</sup>書きましょう！

エペソ 5章 15～16節<sup>せつ</sup>



- ② 「かしこい」とは、どんなことですか？

あいているところを□からえらび<sup>か</sup>書いてね。

【                      】が喜<sup>よろこ</sup>ばれることを  
し 知<sup>し</sup>って、行<sup>おこな</sup>うことです。

<sup>とう</sup>お父さん  
<sup>かあ</sup>お母さん  
<sup>さま</sup>イエス様

- ③ かしこい<sup>あゆ</sup>歩みはどれでしょう？ ○をつけてね。

◆ さけ 酒<sup>さけ</sup>によよう

◆ <sup>さんび</sup>賛美する

◆ かみさま <sup>かんしゃ</sup>神様に感謝する

◆ <sup>わるくち</sup>悪口をいう

◆ テストで100点<sup>てん</sup>をとる

◆ イエス様<sup>さま</sup>に<sup>したが</sup>従う

2. かんがえよう！

- ① あなたはかしこい<sup>あゆ</sup>歩みをしていますか？ 【 はい / いいえ 】

- ② かしこい<sup>あゆ</sup>歩みをする秘<sup>ひ</sup>けつはなんでしょう？

【 自分<sup>じぶん</sup>でがんばること / <sup>みたま</sup>御霊に満たされること 】

《 おいのりしよう！ 》

<sup>てん</sup>天のお父様、イエス様<sup>さま</sup>に喜<sup>よろこ</sup>ばれる道<sup>みち</sup>を教<sup>おし</sup>えてください。そして、<sup>みたま</sup>御霊に満たされて、かしこい<sup>あゆ</sup>歩み<sup>なまえ</sup>をすることができるよう<sup>たす</sup>に助けてください。イエス様のお名前によって、おいのりします。アーメン。

# 偉大な告白

《マタイ 16章 13～20節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① ペテロはどんな告白をしたかな？ きょうのみ言葉を**おぼえ**ながら書いてみよう！

マタイ 16章 16節

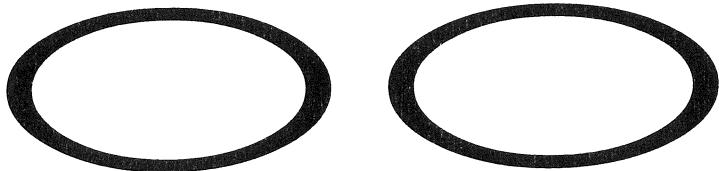
- ② だれがペテロにそれを教えてくれたのでしょうか？ ○をつけてね。

◆ 人間

◆ 神様

- ③ イエス様は何をくださいましたか？ あいている文字をうめてね。

天国の



2. かんがえよう！

- ① だれが天国のかぎをもらえるのでしょうか？ ○をつけてね。

★ たくさんのお金を払った人

★ 「イエスは主です」と信じる人

- ② I コリント 12 章 3 節を読みましょう。

わたしたちはだれによって、「イエスは主です」と告白できますか？

◆ 人間

◆ 聖霊

- ③ あなたは、イエス様が生ける神の子キリストであると信じますか？

【 はい / わかりません / いいえ 】

《 おいのりしよう！ 》

天のお父様、わたしも、「イエス様こそ、生ける神の子キリストです」と告白できるように、聖霊によって導いてください。イエス様のお名前によって、おいのりします。アーメン。

# あい 愛のまなざし 《ルカ 22<sup>しょう</sup>章 54～62<sup>せつ</sup>節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① イエス<sup>さま</sup>様が捕<sup>つか</sup>まったとき、ペテロはどうしましたか？  
あいているところを□からえらんで、番号<sup>ばんごう</sup>を書いてね。

イエス<sup>さま</sup>様から【           】  
はなれて、ついて【           】。

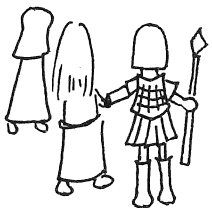
1. 近く<sup>ちか</sup>
  2. 遠く<sup>とお</sup>
  3. 行った<sup>い</sup>
  4. 行かなかった<sup>い</sup>

- ② 人々<sup>ひとびと</sup>がペテロに気づいたとき、  
ペテロは何と答え<sup>こた</sup>えましたか？ あてはまる ◆ を選<sup>えら</sup>んで○をつけてね。

- ア) イエス<sup>さま</sup>様を… ◆ 知<sup>し</sup>っています ◆ 知<sup>し</sup>りません  
イ) イエス<sup>さま</sup>様の… ◆ 仲間<sup>なかま</sup>です ◆ 仲間<sup>なかま</sup>ではない  
ウ) 人々<sup>ひとびと</sup>の言<sup>い</sup>っていることが…  
◆ わかります ◆ わかりません

- ③ にわとりが鳴<sup>な</sup>いたとき、イエス<sup>さま</sup>様は何<sup>なに</sup>をされましたか？  
きょうのみ言葉<sup>ことば</sup>をおぼえながら書<sup>か</sup>いてみよう！

ルカ 22<sup>しょう</sup>章 61<sup>せつ</sup>節



2. かんがえよう！

イエス<sup>さま</sup>様はどんな思<sup>おも</sup>いでペテロを見<sup>み</sup>つめられたのでしょうか？ ○をつけてね。

- ★ よくも裏切<sup>うらぎ</sup>ったな！
- ★ 強<sup>つよ</sup>がりめ！
- ★ ゆるしますよ。

《 おいのりしよう！ 》

天<sup>てん</sup>のお父<sup>とう</sup>様、イエス<sup>さま</sup>様の愛<sup>あい</sup>のまなざしを感<sup>かん</sup>謝<sup>しや</sup>します。いつもイエス<sup>さま</sup>様によりた<sup>あゆ</sup>るので歩<sup>あゆ</sup>むこと  
ができるように助<sup>たす</sup>けてください。イエス<sup>さま</sup>様のお名<sup>な</sup>前<sup>まえ</sup>によって、おいのりします。アーメン。

かみなり

## 雷の子

《マルコ 3章 13～19節》

1. つぎのしつもんにとたえよう。

- ① きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

マルコ 3章 17節

- ② 雷の子と名づけられたのはだれでしょう？ 【 】に名前を書いてね。

ゼバダイの子【 】と【 】

2. かんがえよう！

- ① 雷の子たちは、どんな性格でしたか？ ○をつけてね。

- |             |         |        |
|-------------|---------|--------|
| ◆ たんき 短気    | ◆ がまん強い | ◆ 自分中心 |
| ◆ のんき のん気   | ◆ すぐ怒る  | ◆ ゆずる心 |
| ◆ まげんき 負けん気 | ◆ すぐけんか | ◆ 野心家  |

- ② あなたにも、雷の子のような性格があるかな？

【 はい / いいえ 】

- ③ イエス様は、雷の子を愛しましたか？

【 はい / いいえ 】

- ④ 雷の子はイエス様に出会って、どのように変えられましたか？
- 
- あいているところを□からえらんで、番号を書いてね。

- ★ 【 】の人
- ★ 主の【 】人

1. 罪

2. 愛

3. あかし

《 おいのりしよう！ 》

天のお父様、わたしもイエス様の愛によって新しくされ、主の業に用いられる愛の人、主のあかし人になしてください。イエス様のお名前によって、おいのりします。アーメン。



# あいしと 愛の使徒

《Iヨハネ 3章 13～24節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① イエス様は何をしてくださいましたか？

きょうのみ言葉を**おぼえ**ながら**か**書いてみよう！

ヨハネ第1 3章 16節

② イエス様の十字架によって、わたしたちは何を知ることができましたか？  
下の文字をなぞり、読みましょう。

愛 ( あ い )

2. かんがえよう！

① 本当に愛し合っているのはどれでしょう？ ○をつけてね。

★ 「愛してるよ」とたくさん言う。

★ 困っている人を助ける。

★ 愛のみ言葉をたくさん覚える。

★ み言葉どおりに愛を実行する。



② あなたにできる愛の行いはなんでしょう？ 例えば…おやつを分けてあげる。  
考えて書いてみましょう！

【 \_\_\_\_\_ 】

《 おいのりしよう！ 》

天のお父様、イエス様の愛をありがとうございます。わたしにも愛を与えてください。そして、  
イエス様の愛に生き、愛の行いができるように助けてください。イエス様のお名前によって、  
おいのりします。アーメン。



# アンデレ 《ヨハネ 1章 35～42節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① それぞれがとった行動を線で結びましょう。

バプテスマのヨハネ △

▲ イエス様について行った

ア ン デ レ △

▲ 「見よ、神の小羊」と言った

② アンデレが最初にイエス様のことを伝えたのはだれですか？ ○をつけてね。

★ 兄弟

★ 友だち



③ それからどうしたかな？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

ヨハネ 1章 42節

2. かんがえよう！

① あなたはイエス様のことを知っていますか？ 【 はい / いいえ 】

② あなたを教会にさそってくれたのは、だれかな？ ○をつけてね。

イエス様のことを教えてくれたのは、だれですか？ ◎をつけてね。

★ 家族

★ 友だち

★ 教会の先生

★ そのほか【 】

③ あなたはだれに、イエス様のことを伝えますか？ たくさん名前を書きましょう！

【 】

《 おいのりしよう！ 》

天のお父様、わたしも、家族や友だち、たくさんの人にイエス様のことを伝えることができるように助けてください。イエス様のお名前によって、おいのりします。アーメン。

## ヨシュア

《ヨシュア 24章 14～18節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① ヨシュアはどちらに仕えなさいと言いましたか？ ○をつけてね。

★ 偶像の神々

★ まことの神様

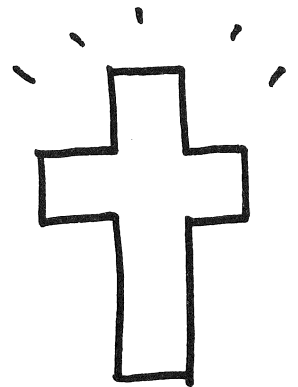
② ヨシュアの決断は何でしょう？ きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

ヨシュア 24章 15節

③ イスラエルの人々は神様の愛を思い出し、どちらを選びましたか？ ○をつけてね。

★ 偶像の神々

★ まことの神様



2. かんがえよう！

① 神様はあなたを救うために、何をしてくださいましたか？

あいているところを□からえらんで書きましょう。

神様は愛するひとり子【 】を

この世におくってください、イエス様は

わたしの【 】のために

【 】で死んでくださいました。

② あなたは、きょう、どちらを選びますか？ ○をつけてね。

★ 偶像の神々

★ まことの神様

《 おいのりしよう！ 》

天のお父様、まことの神様を選ぶことができるように助けてください。わたしだけではなく、  
 家族も、友だちも、まことの神様を信じて、一緒に礼拝できるようにしてください。イエス様  
 のお名前によって、おいのりします。アーメン。

つみ  
罪

イエス様

じゅうじか  
十字架

# ルツ 《ルツ 1章 1～18節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① ルツはどんな告白こくはくをしましたか？ きょうのみ言葉ことばをおぼえながら書いてみよう！

ルツ 1章 16節

- ② ルツはどんな決心けっしんをしましたか？ ○をつけてね。

◆ 自分の家いへに帰かえること

◆ ナオミについて行くこと

- ③ ルツはどんなふうつかに、ナオミに仕えましたか？ ○をつけてね。

★ 大切にたいせつにした

★ いじわるをした

★ 言われるとおりにした



2. かんがえよう！

- ① ルツの子孫しそんには、だれが生まれたかな？ 下の文字した もじをなぞり、読みましよう。

デビデとイエス様さま

- ② おじいちゃんやおばあちゃんのために、あなたは何かなにができるかな？

【 】

《 おいのりしよう！ 》

天てんのお父様とうさま、神様かみさまの愛あいをください。そして、ルツがナオミを大切にたいせつにしたように、おじいちゃんやおばあちゃんを大切にたいせつにすることができるようたすに助けてください。イエス様さまのお名前なまえによって、おいのりします。アーメン。

# ギデオン

《士師 6章 11～18節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 神様が選ばれた「さばきつかさ」のことを何と言いますか？  
下の文字をなぞり、読みましょう。

し  
士

し  
師



- ② 主の使いはギデオンに何と言いましたか？  
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

士師 6章 12節

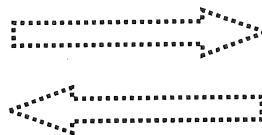
- ③ ギデオンは神様の言葉に、すぐに従いましたか？ 【 はい / いいえ 】

2. かんがえよう！

- ① 神様はギデオンが求める「しるし」を見せてくださいましたか？  
【 はい / いいえ 】

- ② 神様はギデオンを、どのように変えてくださいましたか？  
正しい方の矢印に色をぬりましょう。

だい ゆう し  
大 勇 士



びょう もの  
お く 病 者

- ③ あなたは、主がいつも共にいてくださることを信じますか？  
【 信じます / わかりません /信じられません 】

《 おいのりしよう！ 》

天のお父様、主がいつも共にいてくださることを信じて、感謝します。ギデオンのように、わたしにも、主の力と勇気を与えてください。イエス様のお名前によって、おいのりします。  
アーメン。

## エリヤ

《列王上 17章 1～7節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① エリヤはまことの神様を、どのように信じていましたか？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

列王上 17章 1節

- ② エリヤは何に従いましたか？ 下の文字をなぞり、読みましょう。

 しゅ の こと ば  
 主 の 言 葉


- ③ 主が生きておられるのは、どんなことからわかりますか？

あいているところを□からえらんで、番号を書きましょう。

- 【     】の言葉のとおり、
- 【     】がエリヤに、
- 【     】と【     】を運んできたこと。

1. からす  
 2. 主  
 3. パン  
 4. 肉

2. かんがえよう！

生きておられる神様を信じ、体験する秘けつはなんでしょう？

★ 祈る

★ 聖書を読まない

★ 祈らない

★ み言葉のとおりやってみる

《 おいのりしよう！ 》

天のお父様、わたしの信じている神様は、今も生きておられ、守ってくださることを感謝します。エリヤのように、主のみ言葉を信じて、従うことができるように助けてください。イエス様のお名前によって、おいのりします。アーメン。

# ワークB解説 7~9月

7/6

- 質問1 イエス様は、神様を農夫に、ご自分をぶどうの木に、そして、私たちがぶどうの枝にたとえ、しっかりとイエス様につながるようにと教えてくださいました。イエス様につながって生きるなら、私たちは愛の実をはじめ、聖霊の実を豊かに結ぶことができます。ですから、もし、私たちのうちに神様の喜ばれないものがあるならば、イエス様の十字架を仰ぎ、神様によって、取り除いていただきましょう。
- 質問2 イエス様につながるとは、イエス様が私の罪のために、十字架で死んでくださり、今も愛してくださっていることを信じて生きることです。いつも、神様の愛とイエス様の十字架の愛を思い出し、心からの感謝をささげて歩みましょう。②の答えが「わかりません」に○を付けた子どもには、個人的に交わり導きましょう。

7/13

- 質問1 神様は愛するひとり子イエス様を、罪の身代わりに十字架にかけるほどに、私たちが愛してくださっています。私たちはその神様の愛、イエス様の愛を忘れることなく、神様に愛されている子どもとして、神にならい、イエス様が歩まれたように、神様の喜ばれる道を歩みましょう。
- 質問2 私たちは神様に愛されている子どもとして、神様からの愛をいただき、神様に喜ばれることを行う者とならせていただきましょう。例えば、解答欄にあるように、祈り、感謝、友を励まし、人々と助けあい、赦し合い、愛し合ひましょう。

7/20

- 質問1 光の生活とは、神への感謝、まじめに生きること、助け合い、優しくすることなどです。闇の生活とは、偶像礼拝、悪口、いじめ、いやらしいことを考えたり、人のものを欲しがったりすることなどです。神様は私たちに、光の子として歩むことを望んでおられます。罪深い私たちが、光の子として歩むには、世の光であるイエス様を信じて、いつも一緒に歩むことです。
- 質問2 自分の言動や思っていることが、光の生活なのか闇の生活なのかを確認しましょう。もし、闇の生活であるならば、神様に罪を告白し、イエス様の十字架を仰いで赦していただきましょう。イエス様は私たちが光の子にすることがおできになります。また、光の生活であるならば、自分をえらいと思って、人をばかにするのではなく、光の子の歩みをさせてくださった神様に感謝をささげましょう。

7/27

- 質問1 私たちは、自分がどのような歩みをしているのか、いつも注意深く点検する必要があります。神様が望まれる賢い歩みとは、神に感謝と賛美をささげ、互いに仕え合い、助け合うことです。私たちは聖霊に助けをいただいて、イエス様が喜ばれることを知って行う、賢い歩みをさせていただきましょう。
- 質問2 私たちは自力や努力によって、賢い歩みをすることができません。賢い歩みをする秘訣は、聖霊に満たされることです。日々、聖霊に満たされて、賢い歩みができるように祈りましょう。

8/3

- 質問1 イエス様はピリポ・カイザリヤの地方に行かれたとき、ご自分が人々からどのように言われているのか、そして、弟子たち自身はイエス様をどのように考えるのかとご質問なさいました。それに対し、ペテロは、「あなたこそ、生ける神の子キリストです」と告白しました。イエス様はそのような告白をしたペテロに対し、それを明らかにしてくださったのは神様であること、そして、その信仰告白の上に教会が建て上げられることを教えられました。また、天国の鍵<sup>かぎ</sup>を与えてくださいました。
- 質問2 天国の鍵は、「イエスは主です」と信じ、告白するすべての人に与えられます。私たちも聖霊の助けによって、告白する者とならせていただきます。③の答えが「わかりません」に○を付けた子どもには、個人的に交わり導きましょう。

8/10

- 質問1 イエス様が捕らえられたとき、弟子たちは逃げていきました。しかし、ペテロはイエス様から遠く離れてついて行き、大祭司の家の中庭にいる人々の中に混じっていました。人々がペテロに気づいたとき、ペテロはイエス様を知らない、イエス様の仲間ではない、人々の言っていることがわからないと、三度も否定しました。鶏が鳴いたとき、イエス様はペテロを見つめられました。
- 質問2 イエス様はどのような思いで、ペテロを見つめられたのでしょうか。聖書には書いていませんが、きっと、「赦<sup>ゆる</sup>しますよ」という思いが込められた、愛のまなざしだったのではないのでしょうか。私たちもイエス様の愛のまなざしを覚えつつ、自分の決意や頑張りに頼るのではなく、十字架を仰ぎ、主により頼みつつ歩んでいきましょう。また、私たちも、イエス様の愛のまなざしをいただき、愛をもって人を見る者とならせていただきたいですね。

8/17

- 質問1 イエス様は大勢いる弟子たちの中から、み心にかなう者たちを選び、12名を任命されました。そして、身近に置き、宣教に遣わし、悪霊を追い出す権威をお与えになりました。その中の二人、ゼベダイの子ヤコブとヨハネの兄弟には、雷の子（ボアネルゲ）という名をつけられました。
- 質問2 雷の子の性格は短気、負けん気、すぐ怒る、すぐけんかをする、自分中心で、野心家でした。私たちにも、このような性格はないのでしょうか。イエス様は彼らを愛し、また、そのような性格を持つ私たちをも愛してくださり、愛の人、主の証し人へと造り変えてくださるお方です。雷の子のような性格をもつ自分を認めて、イエス様の十字架の愛を覚えつつ、日々、感謝して歩みましょう。

8/24

- 質問1 イエス様は十字架上で、私たちのために命を捨ててくださいました。そのことによって、私たちは神様の愛と、イエス様の愛を知ることができました。
- 質問2 神様に愛され、イエス様に愛され、愛を知った私たちは、どのように愛し合ったらよいのでしょうか。ただ「愛しているよ」と言うだけではなく、聖書に書いてある愛の個所を暗記するだけでなく、困っている人を助け、み言葉を実践する者と主にあっていただきたいと思います。また、自分にできる愛の行いを一緒に考え、実行できるように祈りましょう。

8/31

- 質問1 バプテスマのヨハネはイエス様を「神の小羊」と指し示し、それを聞いたアンデレともう一人の弟子は、イエス様について行きました。アンデレは真っ先に兄弟シモンを見つけ出し、イエス様にお出会いした感動と、イエス様が救い主であることを伝えました。彼は伝えるだけでなく、シモンをイエス様のもとへ連れて行き、シモンはイエス様の弟子となり、彼もイエス様のことを伝える人となりました。
- 質問2 私たちはだれを通して、教会へと導かれ、イエス様のことを知ったのでしょうか。神様は人を用いられ、私たちをも用いてくださるお方です。家族や友だち、たくさんの人にイエス様のことを伝えることができるようにと祈り、み言葉を心の内に蓄え、備えましょう。

9/7

- 質問1 ヨシュアはイスラエルの民に対し、主を恐れ、誠実と真実をもって主に仕えるようにと命じました。しかし、それは信仰の強制ではありません。一人一人が神様の愛と恵みを覚えつつ、まことの神はただひとりであると確信して、主を選んで欲しいと勧めたのです。周りの人々が偶像を礼拝する中で、ヨシュアは家族と共に主に仕え、主のみを礼拝すると決断していました。それを聞いたイスラエルの民は、エジプトを脱出した時のことを思い返し、神様の愛を思い出しながら、まことの神様を選ぶと答えました。
- 質問2 私たちは、神様が私たちを救うために何をしてくださったのかを、いつも思い出しましょう。主の愛を覚え、主の恵みを数えつつ、日々まことの神様を選び、主を第一として礼拝しましょう。

9/14

- 質問1 夫をなくしたルツは、<sup>しゅうとめ</sup>姑のナオミを捨てて、実家に帰ることもできました。しかし、ルツはナオミの信じているまことの神様を自分の神様とし、ナオミを大切にして、彼女と一緒にについて行くことを決心しました。嫁であるルツは、まことの神様を信じたので、姑のナオミを大切にし、言われることを忠実に守りました。
- 質問2 その後、ルツはボアズと結婚し、子孫にはダビデやイエス様が生まれました。敬老の日の今日、私たちは神様の愛をいただいて、祖父母を大切にし、自分にできることをしてあげましょう。

9/21

- 質問1 神様が選ばれた、さばきつかさのことを「士師」と呼びます。主の使いは、気が小さくて人を恐れて逃げ隠れていた臆病者<sup>おくびょうもの</sup>のギデオンに対し、「大勇士よ」と呼びかけ、主が共にいてくださることを伝えました。しかし、彼はすぐに従うことができませんでした。
- 質問2 ギデオンは神様にしるしを求めます。それに対し、神様は真実に応えてくださり、彼の目にははっきりとわかるようなしるしを見せてくださいました(士師6章19節以降参照)。主なる神様は、ギデオンに確信を与え、彼を臆病者から大勇士へと変えてくださいました。主はギデオンだけではなく、私たちといつも共にいてくださいます。主が共にいてくださることを信じて感謝し、主から力と勇気をいただきましょう。③の答えが「わかりません」に○を付けた子どもには、個人的に交わり導きましょう。

9/28

- 質問1 エリヤは生きておられる主を信じ、主に仕えました。また、主が語られる一つ一つのみ言葉に、忠実に従っていました。主が生きておられることは、主が語られたみ言葉が、そのとおりに実現していることから知ることができます。
- 質問2 私たちも生きておられる神様を体験することができます。そのためにも、日々、祈りを通して主と交わり、聖書を読んで主のみ言葉を聴きましょう。そして、主のみ言葉を信じて従い、そのとおりに実行してみましょう。ぜひ、教師自身が体験したことを、子どもたちと分かち合いましょう。